

＜本県産業の現状と今後の方向性＞

<本県産業の現状と今後の方向性①>

【青森県内人口構成の年次推移】

引用)平成24年青森県人口移動統計調査

◆平成20年に140万人割れ。高齢者人口（65歳以上）の比率が増加する一方、年少人口（0～14歳）は減少傾向。

(単位:人、%)

年次	総人口	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	構成比		
					年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)
平成 18年	1,423,412	194,018	896,042	333,072	13.6%	63.0%	23.4%
19	1,408,589	188,669	879,629	340,011	13.4%	62.5%	24.1%
20	1,394,806	184,226	864,347	345,953	13.2%	62.0%	24.8%
21	1,382,517	178,828	852,035	351,374	12.9%	61.6%	25.4%
22	1,373,339	171,842	843,587	352,768	12.6%	61.7%	25.8%
23	1,363,038	168,013	836,194	353,689	12.4%	61.6%	26.0%
24	1,349,968	163,403	818,833	362,590	12.2%	60.9%	27.0%

(注1)人口は10月1日現在。平成17,22年の人口は国勢調査人口(確定値)。

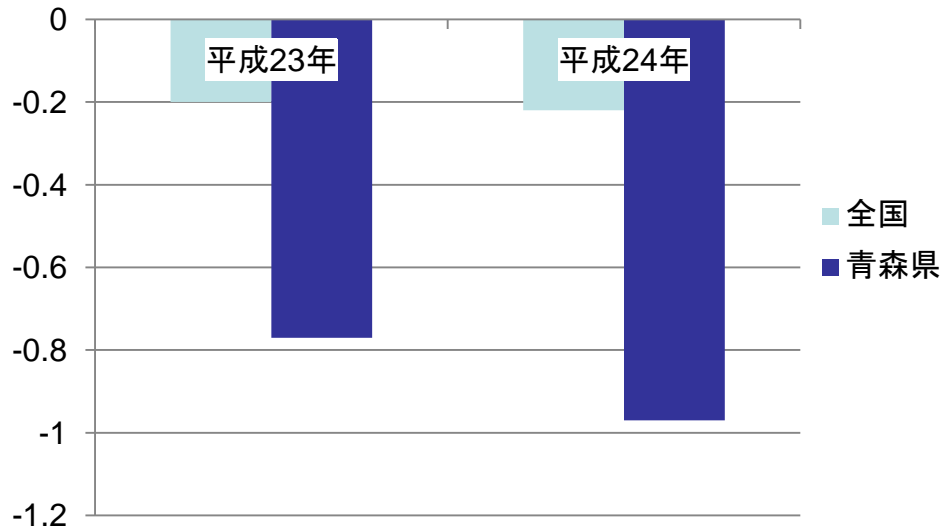
(注2)平成22年の人口増減数は、自然増減数と社会増減数を足した数値と一致しない。

<本県産業の現状と今後の方向性①>

【青森県の人口減少率及び高齢化率】

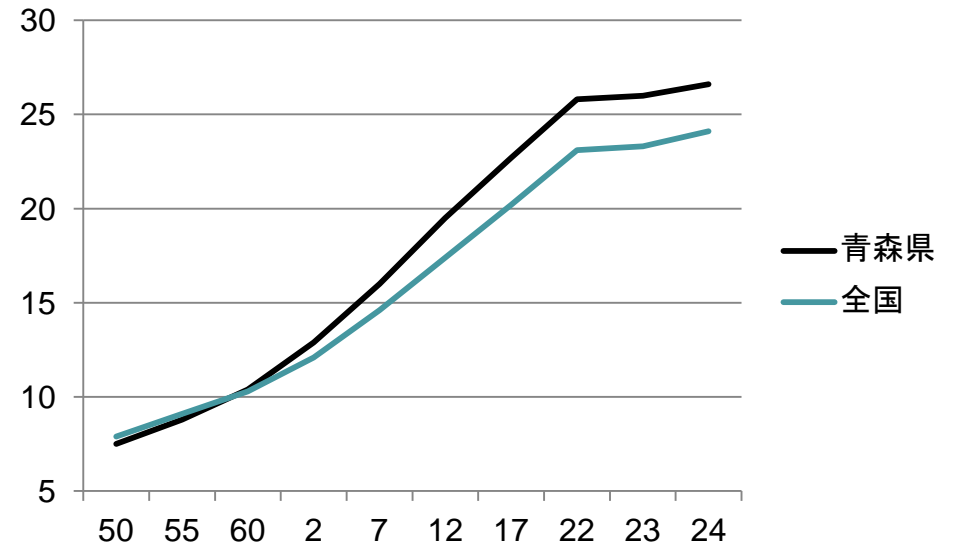
◆青森県の人口減少率及び高齢化率は全国を大幅に上回る。

青森県の人口減少率



引用)総務省統計局人口推計(平成24年10月1日現在)

青森県の高齢化率



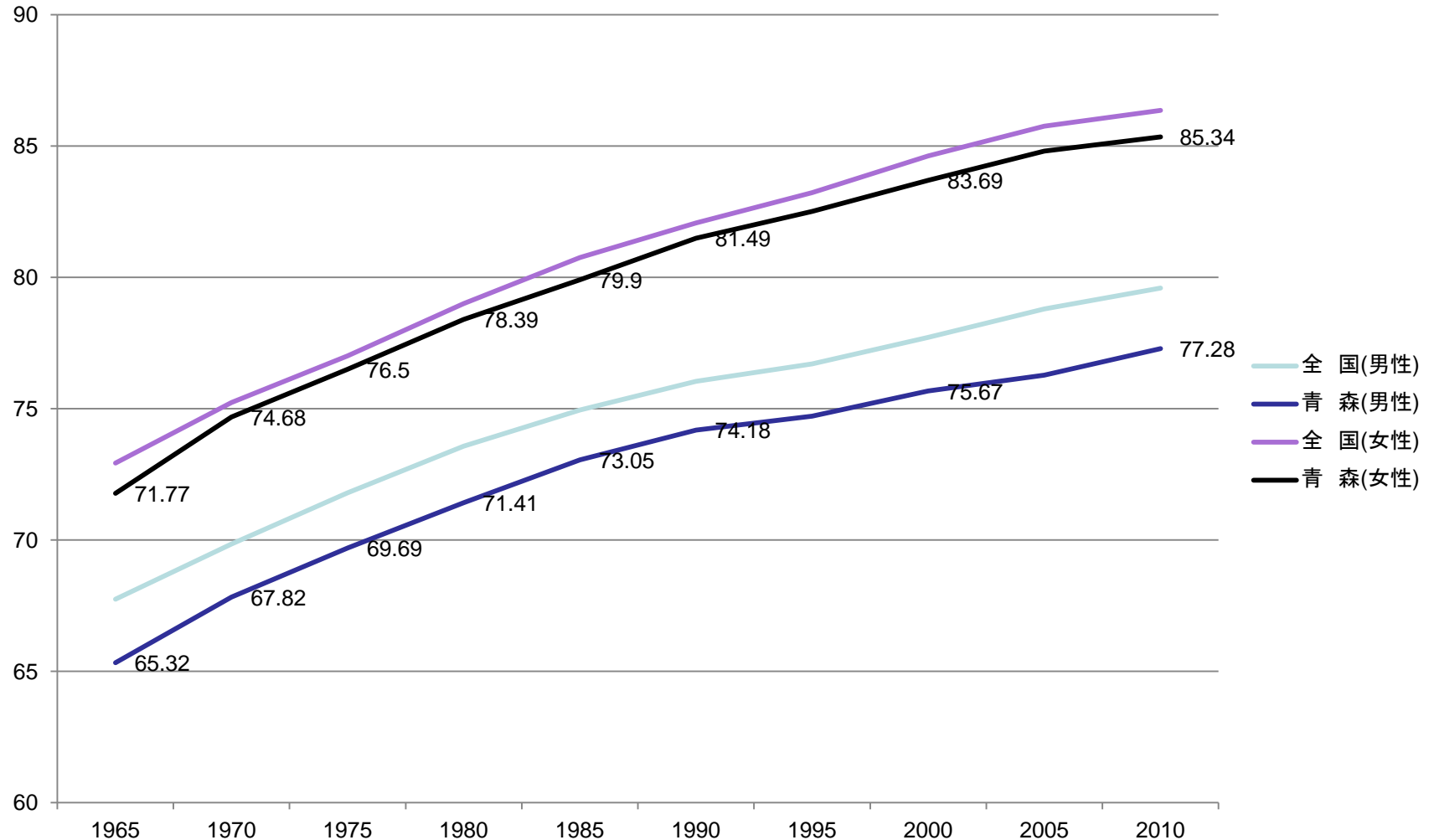
引用)総務省統計局HP高齢者の人口より(国勢調査)
平成24年青森県人口移動統計調査

<本県産業の現状と今後の方向性①>

【青森県の平均寿命】

引用)厚生労働省平成22年都道府県別生命表

◆青森県の平均寿命は男性(1975年～)・女性(2000年～)ともにワースト1位。

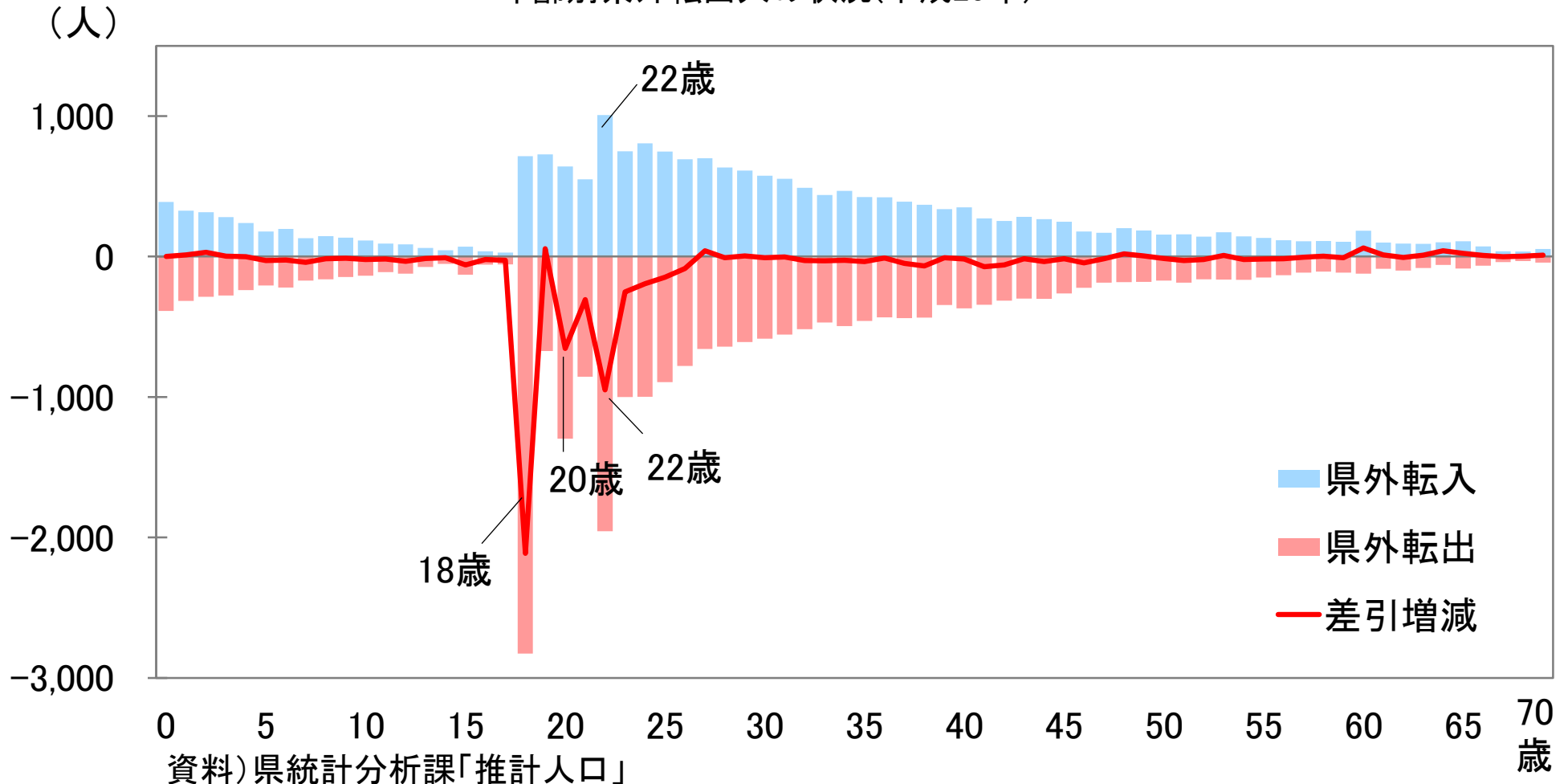


<本県産業の現状と今後の方向性②>

【年齢別県外転出入の動向】

◆ 県外転出者数は、18歳が最も多く、次に22歳、20歳と続く。また、県外転入者数は、22歳をピークとして、年齢が高くなるにつれて減少

年齢別県外転出入の状況(平成25年)

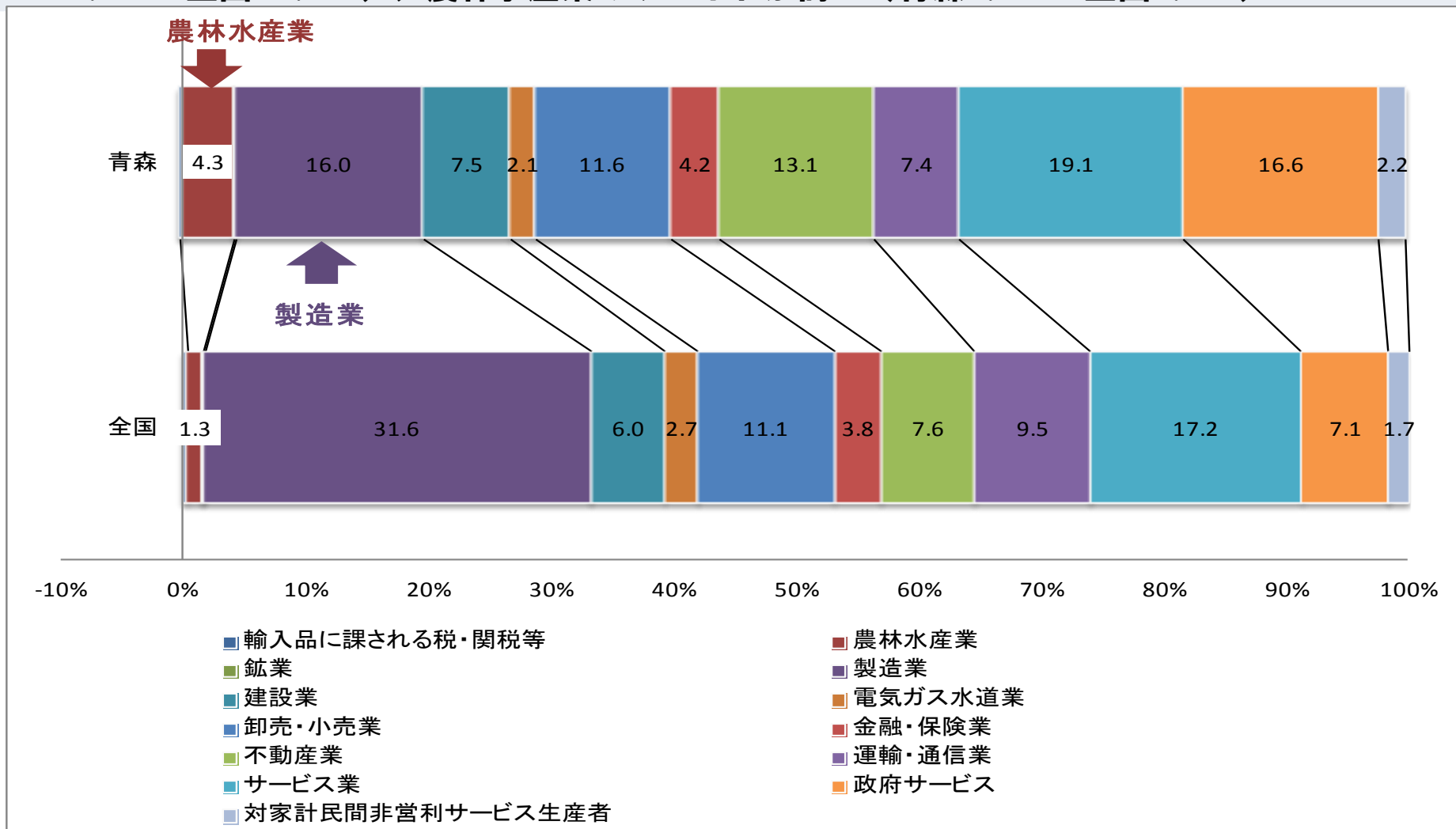


<本県産業の現状と今後の方向性③>

【産業構造上の特徴1】

参照) 内閣府「平成22年度国民経済計算確報」、青森県平成22年度「県民経済計算」確報

◆ 県内総生産の経済活動別構成比（平成23年度）を全国と比較すると、製造業が低く（青森16.0%：全国31.6%）、農林水産業のウエイトが高い（青森4.3%：全国1.3%）



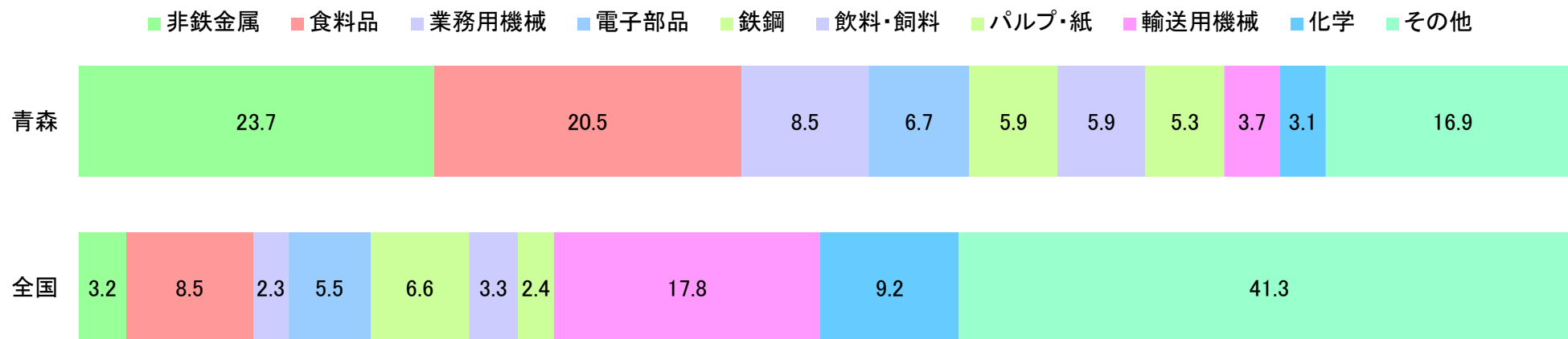
<本県産業の現状と今後の方向性④>

【産業構造上の特徴2】

◆業種別の製造品出荷額は、全国と本県の業種構成に大きな違い。本県では、非鉄金属が23.7%と最も高く、次いで食料品、業務用機械の順。

◆一方、全国では、輸送用機械の割合が17.8%と最も高く、次いで化学、食料品の順。

業種別の製造品出荷額等(構成比)



資料)総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」、県統計分析課「平成23年青森県の工業」

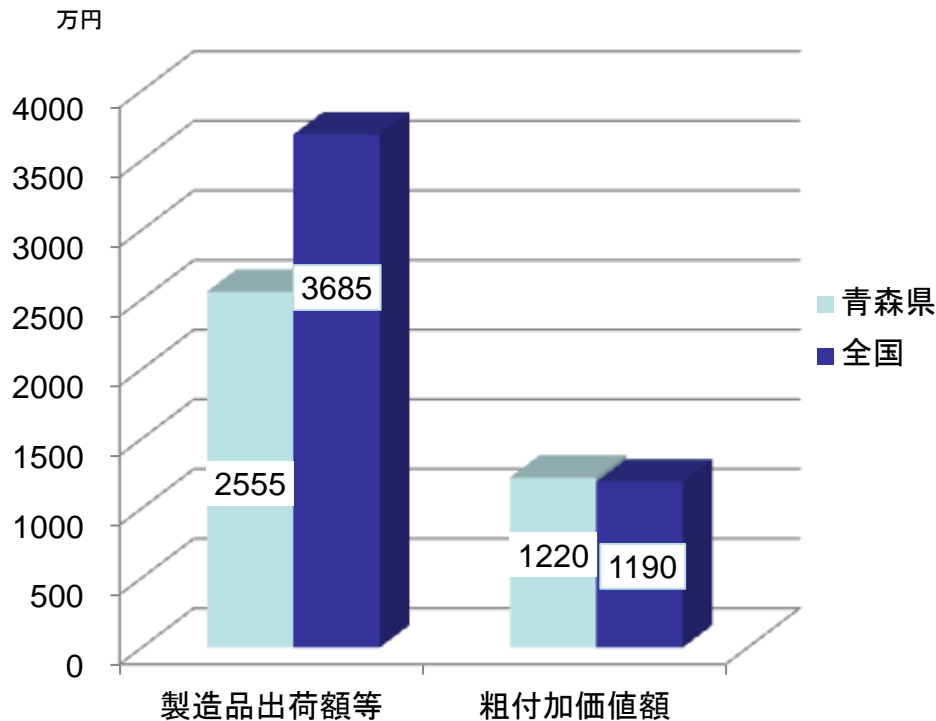
<本県産業の現状と今後の方向性⑤>

【製造品出荷額等及び粗付加価値額】

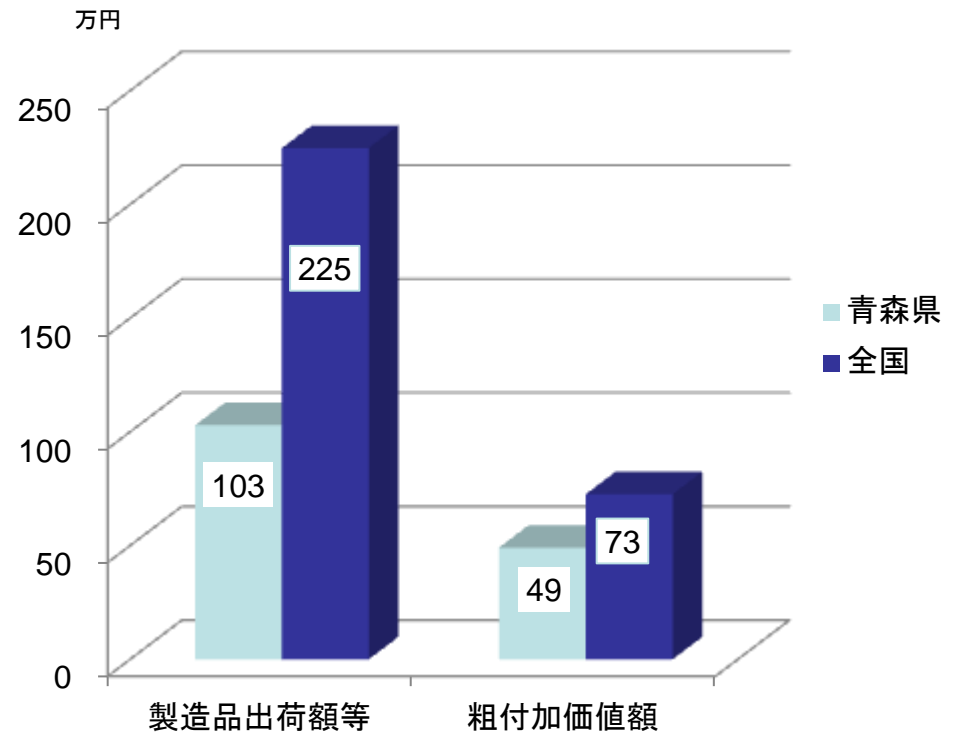
参照)総務省統計局「平成24年経済センサス」
平成23年青森県の工業

◆従業員1人当たり、人口1人当たりの製造品出荷額等（平成23年）はともに全国に比べて下回っている。

従業員1人当たりの製造品出荷額等と粗生産額



人口1人当たりの製造品出荷額等と粗生産額



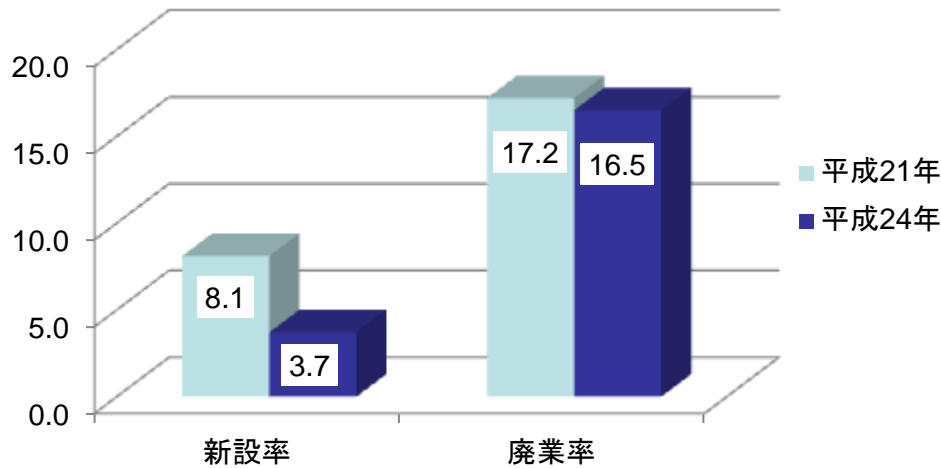
<本県産業の現状と今後の方向性⑥>

【事業所の増減率】

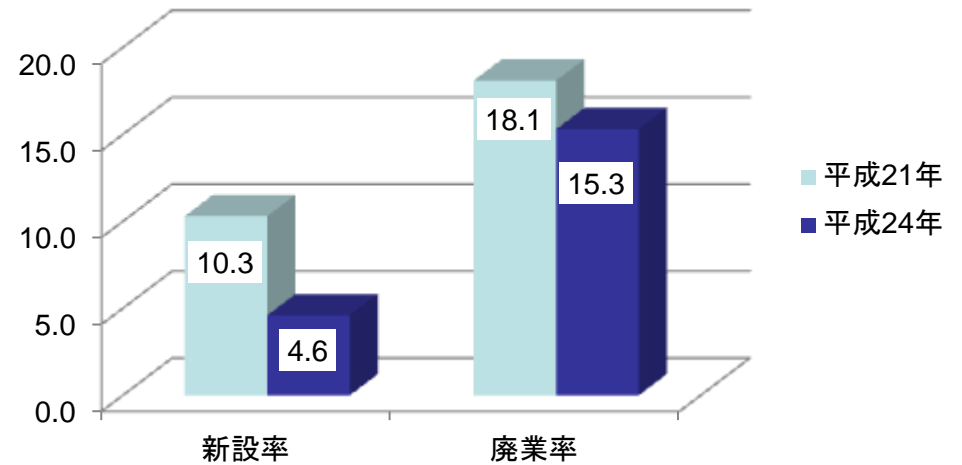
参照) 総務省統計局「平成21年経済センサス」
 // 「平成24年経済センサス」

◆事業所の増減率は、本県でも全国でも廃業率が新設率を上回っている。

【青森県】事業所の新設率及び廃業率



【全国】事業所の新設率及び廃業率



新設、廃業事業所数及び割合(平成21年、平成24年)

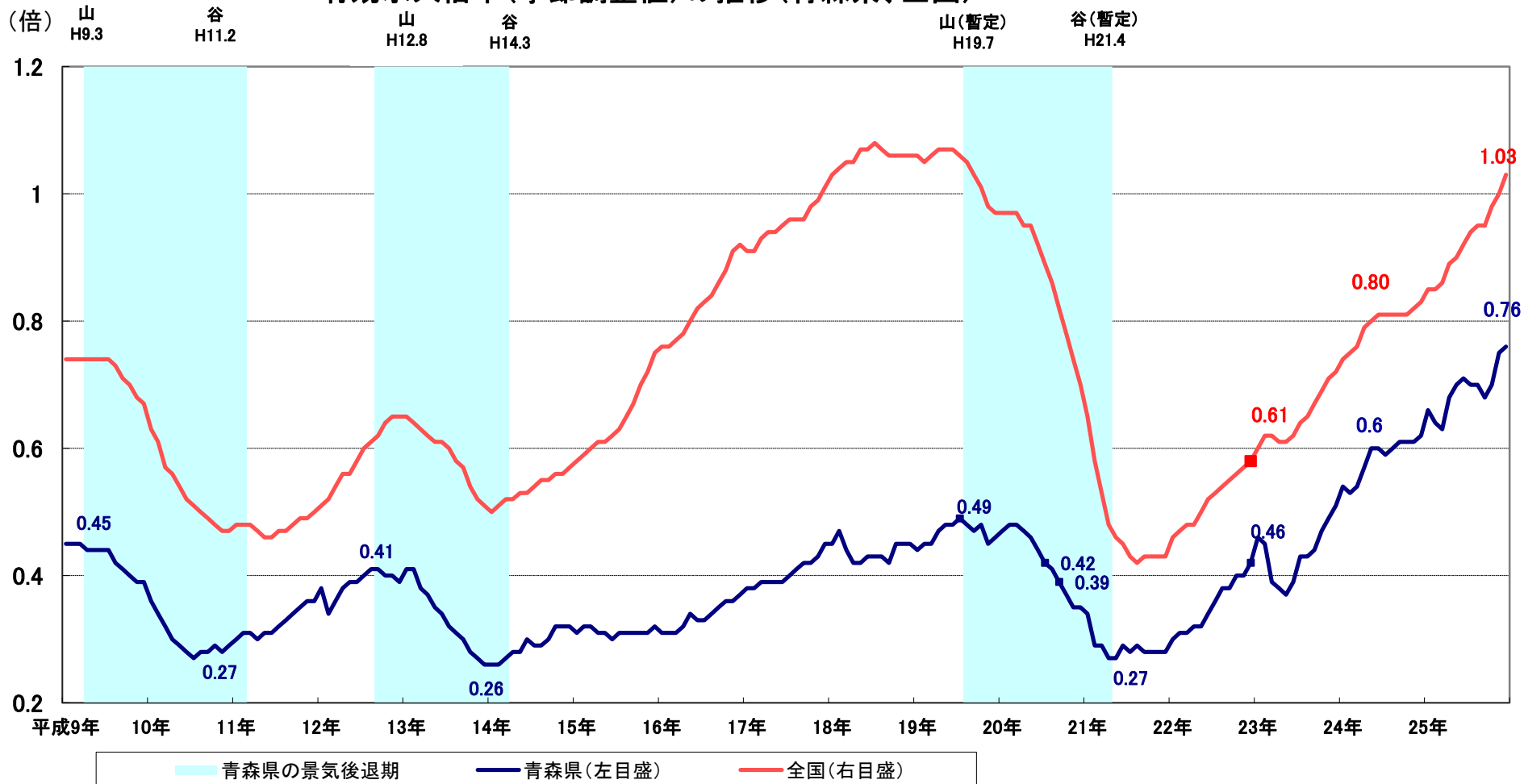
調査年	新設事業所数		新設率(%)		廃業事業所数		廃業率(%)	
	青森	全国	青森	全国	青森	全国	青森	全国
平成21年	5,538	611,499	8.1	10.3	11,740	1,072,579	17.2	18.1
平成24年	2,472	287,787	3.7	4.6	11,131	951,331	16.5	15.3

<本県産業の現状と今後の方向性⑦>

【有効求人倍率の推移】

◆青森県の有効求人倍率(季節調整値)は、全国最下位レベル。

有効求人倍率(季節調整値)の推移(青森県、全国)



資料)厚生労働省「職業安定業務統計(一般職業紹介状況)」

<本県産業の現状と今後の方向性⑧>

【研究者数、特許出願数】

- ◆青森県の研究開発に関わる科学研究者数は全国最下位クラス、技術者数は全国40位。
- ◆青森県の特許出願件数は全国で最下位クラス。

青森県内の研究開発に関わる人的資源の状況

区分	県内の人数	全国順位
科学研究者数	200	43
技術者数	10,300	40

参照) 平成22年国勢調査抽出速報集計

青森県からの特許出願状況

年(暦年)	22年	23年	24年
出願件数	119	109	127
全国順位	47	47	46

参照) 特許行政年次報告書

<本県産業の現状と今後の方向性⑨>

【豊富な地域資源】

参照)ピカイチデータ 数字で読む青森県2013

◆青森県には競争力・比較優位がある農林水産資源などの地域資源が豊富に存在。

農林水産資源

項目	全国順位 (年度)	青森県の値
ながいも収穫量	2位(24)	58,500トン
ごぼう収穫量	1位(24)	55,900トン
にんにく収穫量	1位(24)	13,600トン
あんず収穫量	1位(23)	1,250トン
りんご収穫量	1位(24)	446,000トン
天然ヒバ蓄積量	1位(24)	12,720千m ²
いか類漁獲量	2位(23)	64,835トン
ひらめ漁獲量	2位(23)	925トン
ほたて貝生産量	2位(23)	32,310トン
しじみ漁獲量	1位(23)	3,672トン
こいの漁獲量	1位(23)	103トン

その他資源

項目	全国順位 (年度)	青森県の値
その他の水産缶詰・瓶詰 出荷金額	2位(23)	123億円
温泉地数	4位(23)	138箇所
公衆浴場数	1位(22)	24.8所/10万人
風力発電導入量	1位(24)	329,063kw
少年少女発明クラブ数	2位(24)	13

項目	全国順位 (年度)	青森県の値
冷涼な年平均気温	3位(22)	11.1℃
工業地の平均価格	4位(25)	12,700円/m ²

<本県産業の現状と今後の方向性⑩>

<今後の方向性>

- 人口減少、高齢化、平均寿命等において課題先進県である本県の特徴を踏まえ、新たな成長産業分野に取り組むことが必要
- 農林水産業のウェイトが高い本県産業構造を踏まえ、生産性・付加価値の向上を図ることが必要
- 産業連関・集積を高め、自律的かつ強靱な経済構造を構築することが必要
- 本県が比較優位を有する地域資源を最大限に活用し、広く県外市場（首都圏等の大消費地）に売れる技術・製品づくりを促進することが必要

<対応方針>

低炭素型ものづくり産業（グリーン）、医療・健康福祉等の産業（ライフ）、情報産業等の産業クラスター形成を強力に推進する

その際、

①産学官金連携の促進 ②知的財産の活用 ③青少年の「科学する心」育成を通じた人材育成等の横断的な施策を効果的に組み合わせていく

さらに、企業誘致や地域ファンド、創業支援等の関係部局の施策も最大限に活用する

産学官金連携の推進（イノベーション・ネットワークあおもり）

知的財産の活用

青少年の「科学する心」の育成

低炭素型ものづくり
産業振興指針

ライフイノベーション
戦略

【地域イノベーション戦略推進地域】（青森県全域）
あおもりグリーン&ライフシナジーイノベーション戦略エリア

新たな産業の
創出

雇用の創出・地域
経済の活性化